

# 地域・家庭とともにある学校づくり

～保・小・中 15か年の育ちを柱に～

【柳井市 大島中学校区】

## 地域の概要

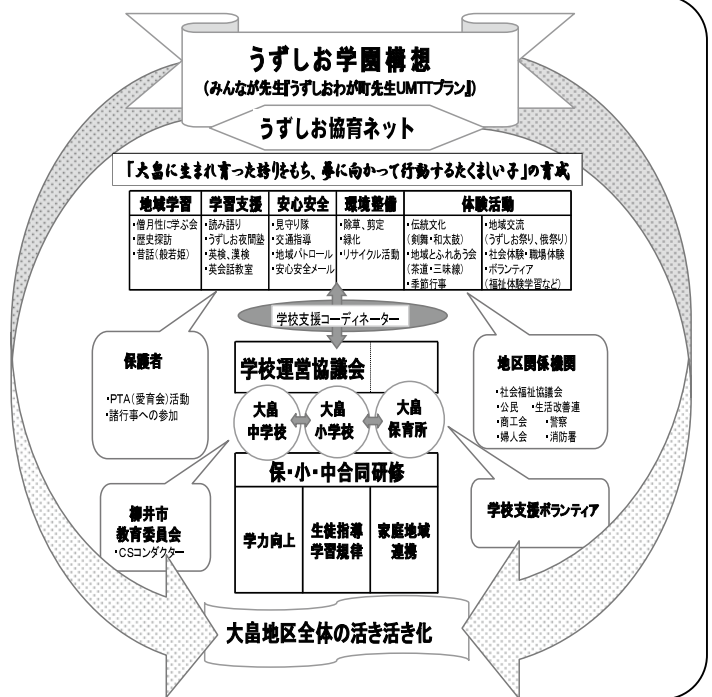
大島地区は古くから周防大島への玄関口であり、交通の要衝として栄え、明治維新の礎を築いた僧月性の誕生地としても知られています。また、大島瀬戸に面し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。純朴明朗な児童生徒が多く、保護者や地域は学校に協力的です。

人口	3,045人	
世帯数	1,476世帯	
対象校及び児童生徒数	大島中学校	46人
	大島小学校	97人

## 組織の内容

昨年度、「うずしお協育ネット」が発足しました。連携から協働を合言葉に、学校と地域と家庭が一体となって、ふるさと大島の子どもたちを育て、さらには、活動を通じて地域全体が元気になることをめざしています。

本年度は、熟議によりめざす大島の子ども像を「大島に生まれ育った誇りをもち、夢に向かって行動するたくましい子」と掲げました。地域ぐるみで子どもたちを見守り、育てるための様々な事業の展開や情報交換、また、学校運営協議会等各種の協議会や団体をつなぐ場として機能しています。今年度は保育所も加えた15か年の子どもの育ちを明確にし、保小中が連携した具体的な取組を進めています。



## 特色・重点的な取組

### 1 大島保小中連携のための研修

大島地区の教職員が連携し、15か年を見越した教育を進めていこうと、交流を図っています。

- (1) 三部会に分かれての教職員合同研修会
- (2) 出前授業・相互の授業参観

### 2 大島小中合同学校運営協議会

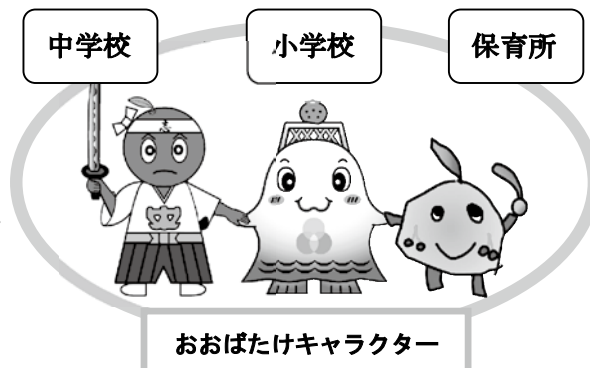
年に2回、小中合同による学校運営協議会を開催し、情報交換と課題解決のための協議を行っています。

- (1) 小中それぞれの授業参観と学校評価
- (2) 情報交換、課題の共有と解決のための協議

### 3 学校支援ボランティア

保護者及び地域の人材がボランティアとして学校を支援する活動を推進し、学校の活性化を図るとともに、生涯学習社会の実現をめざしています。

- (1) 学校支援コーディネーターの紹介による教育活動の支援
- (2) 環境整備・園芸指導



## 主な活動の紹介

### ■ 活動事例1 地域の支援 「認知症サポーター養成講座」

地域の一員としてできることとして、大島小4～6年生と保護者が、地域の方の協力による「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について考えました。この受講によって、4～6年生が認知症サポーターとなりました。



### ■ 活動事例2 保小中交流 「保育所訪問」「体育祭合同競技」

大島小1年生が大島保育所を訪問し、来年度1年生になる園児と交流をしました。1年生が作ったこまやけん玉で、楽しく一緒に遊びました。また、大島中体育祭では、小学校6年生と中学校1年生との合同競技が企画されました。



### ■ 活動事例3 地域へ貢献 「橘香酢づくり」のボランティア

ミカン畑が多い大島地区では、摘果作業で大量に出る青いミカンを搾って橘香酢を作っています。その橘香酢づくりを、生徒がボランティアとして手伝うことが恒例となっていて、今年は総合文化部と剣道部の計8名が参加し、地域の特産品づくりに貢献しました。



### ■ 活動事例4 地域支援 「うずしお学習塾」

毎週2日、希望する生徒を対象に放課後学習塾を行っています。宿題をする生徒、苦手教科に取り組む生徒、受験勉強をする生徒と学習内容は生徒により異なりますが、地域の方のきめ細やかな学習支援により、個々の学習習慣の定着や学力の向上が図られています。



## 成果と課題

【成果】 保小中15か年のつながりが明確になり、合同研修も進んできました。特に三部会（学習支援・生徒指導・地域連携）の中の学習支援、授業規律に焦点を当て、授業を受ける姿勢や授業前黙想など、統一した約束事を決めて、その徹底に取り組んでいます。

【課題】 「うずしお協育ネット」の組織が固まり、地域や保護者の学校への参画が増えてきましたが、まだ地域での認知度が低く、地域人材を生かし切れていません。もっと「うずしお協育ネット」の周知を図る必要があります。

## 今後の取組

- ・「うずしお協育ネット」の周知を図るために、地域掲示板や広報誌を活用した情報発信を行います。
- ・保小中合同や地域合同による行事を積極的に企画します(安全教育二分の一成人式と立志式など)。
- ・学校支援コーディネーターを中心に、これまで以上に「うずしお協育ネット」の活動が互いにつながるよう、組織を整理し、より実働的な人材を確保します。